

聖地で はばたけ

全国高校大会に挑む県勢

42年ぶりの出場を果たした 監督は、県大会優勝を決めた 昨年は、全国大会で2回戦に 直後から「昨年は確かに1勝 運出した。しかし、古谷和義 したが、出場しただけで終わ

▷5◁



ラグビー
〔2年連続7度目〕

秋田中央

(27日—1月7日)
大阪

った感じがある。だが、今年をのんできた。6月の東北選手権で青森北(青森)に完封負け。8月の東北総体では、宮城(仙台育英単独チーム)に他校と組んだオール秋田で挑んだが敗れた。

県大会決勝の秋田戦では、終始リードしながら後半追いつけを許し「ディフェンスが崩壊した」(古谷監督)。

だがそれだけ課題は明確だ。L.O吉田祐太主将(3年)いわく「ディフェンスで前に出き、より攻撃的なラグビーが意識を強く持つこと。しっかり地域を取って、相手ボールを外に回させないようにプ

自慢のBK陣に磨き

レッシュャーをかけていく。チームの結束は固い。今年のチームは新人戦、全

県総体、花園予選と3冠を達成。県内では敵なしのチームだが、東北勢との戦いでは涙

古谷監督は「全国に通用するものを、確かに持っている」と胸を張る。さらに、今年から導入された試験的ルール(ELV)も追い風となった。モールの引

初戦の相手・長崎北(長崎)も展開ラグビーを得意とするチーム。日本代表候補C

位置	名前	身長	体重
PH	山智 智哉③	183	102
HP	菅原 浩太③	171	87
PL	小林 峻太③	175	89
LL	小田 祐太③	171	77
LF	佐々木 晃介②	185	85
FN	石川 健一③	170	80
NO	伊藤 拓真②	174	73
SS	澤木 大樹③	172	83
WT	佐々木 智裕③	170	70
BT	谷山 直航③	174	78
CT	山田 雄希③	173	73
WB	浦田 正嗣②	171	74
CB	三原 健一②	174	66
FW	藤原 宗人②	174	69
FB	佐藤 平②	179	100
CB	佐藤 雄平①	172	83
FW	渡部 健士郎①	182	130
FW	二田 康平②	171	81
FW	池田 映輔②	174	85
FW	菊山 慧②	178	67
FW		177	74
FW		172	80
FW		174	65
FW		174	70



最後に相手より1点でも上回っていた。チームはきょう20日まで専大での合宿を張り、万全の状態で花園に乗り込む。

目標の全国ベスト8を目指し、練習に汗を流す秋田中央ファイティーン同校グラウンド

高校一
高ビ
全国
全ラ

秋田中央、8強へ闘志

きょう
京
都
成
章
戦
軽
め
の
調
整
で
汗

第88回全国高校ラグビー大会第4日はきょう1日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で3回戦8試合を行い、秋田中央は午後2時15分から同ラグビー場第1グラウンドで、京都成章（京都）と8強入りをかけて戦う。秋田中央フIFティーンは31日、同市の市立日新高グラウンドで約2時間、軽めの調整で汗を流し、元日決戦へ向け士気を高め

た。
選手たちは午前9時から練習。1、2回戦と厳しい接戦が続き「だいぶ疲労がたまっている」（古谷和義監督）として、ストレッチなど体のケアに長く時間をかけた。プレーもキックの処理やディフェンスを確認する程度に抑えた。午後からは休養し、疲労回復に努めた。

京都成章とは昨年9月の関西遠征の際に練習試合を行い、完封負けを喫している。吉田祐太主将（3年）は「BKのチームという印象があ



元日決戦に向け、軽めの調整で汗を流す秋田中央フIFティーン

る。（1回戦の相手の）長崎北（長崎）に近い」との見方。主力メンバーは午後の空き時間に長崎北戦のビデオを繰り返し見るなどし、対策を練っていた。

秋田中央として初めて迎え

る大阪での正月に「どう過ごせばいいのかわかりません」とうれしい悩みを抱える古谷監督。「本番を経験して落ち着きが出てきた。強豪に勝って自信もつき、雰囲気がいい」と話した。

秋田中央が初戦突破

前半のリード守り切る

第88回全国高校ラグビー大会第2日は28日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で1回戦残り11試合を行った。本県代表で2年連続7度目出場の秋田中央は長崎北(長崎)と対戦。前半にトライを重ねてリードした秋田中央が、後半の長崎北の猛追を振り切り、昨年に続く初戦突破を果たした。初出場の日向(宮崎)は16-14で日本航空二(石川)に競り勝って2回戦へ進んだ。前回ベスト4の桐蔭学園(神奈川)は68-7で高松北(香川)に圧勝。



〈第2日〉

このほか、38大会ぶり勝利の貞光工(徳島)などが1回戦を突破。関商工(岐阜)は24-24で熊野(和歌山)と引き分け、抽選により2回戦進出が決まった。第3日の30日は優勝候補の常翔啓光学園(大阪第1)や2連覇を目指す東福岡(福岡)などのシード校が登場し、2回戦の16試合を行い、秋田中央は午後2時半から、同ラグビー場第1グラウンドで仙台育英(宮城)と戦う。

猛タツクル、長崎北下す

▽1回戦

秋田中央 24 (717-127) 19 長崎北 (長崎)

中央 22 17 11 0 7 計 24 8

長崎北 11 0 7 2 1 0 12 計 19 6

▽30分ハーフ▽キックオフ▽長崎北▽レフェリー▽小堀

秋田中央が前半のリードをのりで勝利を収めた。守り切り、長崎北の反撃をしのぎ、前半3分、秋田中央はゴール前のラックから右に展開し、F B三浦が先制トライ。13分にはC T B畠山航がP Gを決め、19分にはW T B鈴木がハ

ル前のラックから右に展開し、F B三浦が先制トライ。13分にはC T B畠山航がP Gを決め、19分にはW T B鈴木がハ

課題の守備を克服

秋田中央が昨年に続く初戦突破を果たした。初戦の相手・長崎北は高校日本代表候補C T B吉原昭之(3年)を中心に、再三にわたって秋田中央のディフェンスラインを揺さぶった。L O吉田祐太主将(同)は「やはり相手のB Kは強かった。で

タツクル

も、課題だった「前に出るディフェンス」ができて、しっかり止められた」と安堵(あんど)の表情を見せた。

後半はF Wの足が止まって突破される場面もあったが、最後まで逆転は許さなかった。県予選決勝以来の課題を克服しての勝利に、古谷

2回戦進出の秋田中央

強豪倒しチームに自信

和義監督も「後半はかなり苦しかったが、よく踏ん張ってくれた」とフイティーンをたたえる。この日2トライを挙げ、勝利に大きく貢献したW T B鈴木智裕(3年)は、50に近い独走トライに「気持ちよかったです」と笑顔。15人それぞれが役割を果たし、九州2位の強豪を倒したことで、チームは大きな自信をつけた。

2回戦の相手・仙台育英(宮城)とは昨年何回も合同練習を繰り返して、互いに手の内を知る間柄だ。公式戦ではまだ勝ったことのない相手だが、吉田主将は「去年は2回戦で負けたので、今年は花園で年を越したい」と先輩越えを誓っている。



【1回戦・秋田中央-長崎北】後半5分、秋田中央のW T B鈴木智裕が独走トライを決め、22-7と突き放す

1フライン付近から独走トライを挙げ、17-0とした。前半終了間際に1トライを奪われたものの、後半5分に再び鈴木がハーフライン付近から抜け出してトライを決め、24-7とした。その後は長崎北の強力B K陣に連続トライを奪われたが、鋭いタツクルで応戦し、リードを守り切った。

梶原監督、母校で初勝利

○元日本代表フ兰卡イの梶原監督が率いる日川が逆

転で4大会ぶりに初戦を突破した。5-10で折り返した後半は、最初のプレーで平山がノーホイースルトライ。その後もF W中心に攻めて、4トライを追加。2トライしたナランバー8の古屋は「思い通りの攻めができた」と声を弾ませた。

梶原監督は今春、母校の監督に就任。県予選決勝では、昨季まで指揮を執っていた桂を下して花園へ導いた。「き

ような個々の強さ、組織の強

さが出ていた」と手応えを感じ取っていた。貞光工、38大会ぶり勝利

▽1回戦

日川 10 0 5 10 36 計 10

北見 13 0 13 7 7 計 7

関西 21 7 14 14 計 14

山形 11 0 7 11 0 7 計 14

関西 22 0 14 1 1 0 7 計 14

京都成章 45 24 21 0 3 計 3

飯田 0 0 1 3 0 0 0 計 3

京都成章 45 24 21 0 3 計 3

桐蔭学園 68 36 32 0 7 計 7

高松北 11 0 7 11 0 7 計 7

桐蔭 6 1 0 3 2 0 0 計 7

札幌山の 50 26 24 12 5 17 計 17

道南 26 24 12 5 17 計 17

若狭東 11 0 5 11 0 5 計 17

札幌山 4 2 0 24 4 3 0 26 計 12

新潟工 19 7 12 7 7 計 7

鹿実 0 0 0 0 0 0 計 7

新潟工 2 1 0 12 1 1 0 7 計 7

東東京 10 5 3 8 計 8

江の川 0 0 1 3 1 0 0 5 計 8

東東京 10 5 3 8 計 8

北都銀女子三菱を下す

バドミントン 日本リーグ

3年連続で5位

秋田NB

今季終了 10

社会人ラグビーのトップイースト11最終節は28日、国士館大グラウンドで秋田ノーザンプレッツRFC(秋田NB)が日野自動車と対戦した。秋田NBは後半に逆転されて22-33で敗れ、今季は10戦全敗で終了。参戦3年目で初の最下位(11位)となった。リコ

日野自動車 33 30 12 10 22 計 10

自動車でレフェリー▽日野自動車 33 30 12 10 22 計 10

秋田NB 11 1 0 11 0 11 計 10

日野自動車 33 30 12 10 22 計 10

第88回全国高校ラグビー大会第3日は30日、近鉄花園ラグビー場で2回戦16試合を行った。本県代表の秋田中央はBシードの仙台育英（宮城）と対戦。立ち上がりは先制した秋田中央は粘り強く守って1点差で競り勝ち、秋田市立として出場した1961年度以来47大会ぶりの3回戦進出を決めた。Aシードの学校は、優勝候補の常翔啓光学園（大阪第1）が41-20で札幌山の手（南北海道）

全国高校ラグビー <第3日>

を、国学院久我山（東京第1）は17-12で深谷（埼玉）を下し、御所工・御所実（奈良）は34-0で初出場の日向（宮崎）に快勝した。Bシード勢では前々回優勝の東海大仰星（大阪第3）が7-10で京都成章（京都）に敗れた。連覇を狙う東福岡（福岡）などは勝ち上がった。第4日は来年1月1日に3回戦8試合を行い、秋田中央は同ラグビー場第1グラウンドで、京都成章とベスト8進出をかけて戦う。

秋田中央 3回戦へ

仙台育英に競り勝つ

▽2回戦
秋田中央 8 (08-70) 7 仙台育英 (宮城)

育英 0000 1107 74
TGP前 TGP後 計反
中央 1018 0000 87
▽30分ハーフ▽キックオフ＝秋田中央▽レフエリー＝横山

前半、BKの展開力で少ないチャンスをものにした秋田中央が、守りでも低く鋭いタックルで仙台育英の進攻を止めた。3回戦に駒を進めた。秋田中央は前半1分、相手

苦しんで天敵に雪辱

試合終了の笛が響くと、フティーンは雄たけびを上げ、全身で喜びを表した。前身の秋田市立以来、実に47大会ぶりの3回戦進出を決めた秋田中央。今季負け続けた仙台育英に雪辱し「最高の気分です」とLO吉田祐太主将（3年）。苦しみ抜いてつかんだ勝利の味をかみしめた。

序盤から自慢の強いアタックで敵陣に切り込み、相手ミスを誘った。BKも得意の展開力を見せ、WTB蓬田雄希（同）がトライ。蓬田は「自分は走っただけ。みんながつないでくれたボールを絶対決めよう」と必死だった。花園のメーキングラウンドで、伸び伸びと「秋田中央ラグビー」を見せつけた。

秋田中央

後半は相手ペース。「接戦続きの緊張感から、みんな疲れがあった」（吉田主将）。しかし

部田澤場原者 永葉留本藤崎田
阿武山石西武 森 吉千徳明加藤竹
【仙台育英】FW HB TB FB
【秋田中央】FW HB TB FB
山原田林藤川樫木智 池田浦
皇管鎌小吉伊石富澤佐鈴木 菊蓬三
▽交代＝【仙】齋藤（加藤）【中】佐々木澗（伊藤）

後半は序盤から押し込まれ、自陣での攻防を余儀なくされたが、速い集散で再三、相手の出足を遮った。4分にラックからBKへの展開を許しトライ（ゴール）を奪われ1点差に迫られたものの、その後は堅い守りで得点を許さず、競り勝った。

東海大仰	11	0	0	7	1	0	0	0	7
京都成章	10	100	0	7	7	1	0	0	0
東海大仰	10	100	0	7	7	1	0	0	0
京都成章	10	100	0	7	7	1	0	0	0
東海大仰	10	100	0	7	7	1	0	0	0
京都成章	10	100	0	7	7	1	0	0	0



【秋田中央—仙台育英】前半10分、秋田中央のWTB蓬田（右）がタックルを受けながらトライを奪う

粘りのタックル/1点差守り抜く

1点差に詰め寄られて緊張感を上回る危機感が生まれ、タックルに再び鋭さが戻った。防御の最前線を任されたPR畠山智哉（同）は「トライされてからの時間は本当に長かった。気持ちで負けず、粘りのタックルを心掛けた」。強化し続けたディフェンスで1点差を守り抜いた。

出場校数が今より少なかった47年前は、3回戦が準々決勝でもあった。ことは目標の8強までもう1勝する必要がある。1回戦で左足を骨折したCTB畠山航（同）をはじめ、けが人は増える一方。だが代わって出場したCTB菊池映貴（2年）が「プレッシャーはすごかったが、集中してプレーできた」と体を張った活躍を見せるなど、チームは逆に結束を強めている。

湯本16位、葛西17位

W杯スライム

【オーベルストドルフ（ドイツ）29日共同】ノルディックスキーのワールドカップ（W杯）ジャンプは29日、ドイツのオーベルストドルフで伝統のジャンプ週間開幕戦を兼ねた個人第8戦（HS137級、K点120級）を行い、14日の個人第5戦でW杯初優勝を果たした湯本史寿（東京美装）が127・5級、123級の244・9点で16位と

湯本史寿	127.5	123.0	244.9	16
葛西純	127.5	123.0	244.9	17
湯本史寿	127.5	123.0	244.9	16
葛西純	127.5	123.0	244.9	17
湯本史寿	127.5	123.0	244.9	16
葛西純	127.5	123.0	244.9	17



秋田中央、8強ならず

京都成章BK陣に完敗

▽3回戦

京都成章 34 (1519) 53 8 秋田中央

京都 32019 21115 349
 TGP前 TGP後 計反
 秋田 0013 10005 85
 △30分ハーフ▽キックオフ〓秋田中央▽レ
 フェリー〓吉田

秋田中央は、京都成章の強いプレッシャーと速い展開の前に、反撃の糸口をつかめな

いまま敗れた。前半からキックを多用し、ディフェンスラインの裏をかいた京都成章。12分にはラックから抜け出しを許し、

智原田林田藤川樫木木智 裕 池田浦
 山管錬小吉伊石富寛佐鈴 木谷 菊逢三
 【秋田】F W H T B
 【京都】F W H T B
 村祥川野奥本田浅崎井 野川水
 中山森星比村河安湯橋奥 宇廣瀧
 △交代〓【秋】二田康(菊池)、
 柏山(鈴木)、佐々木混(伊藤)、
 二田康(鈴木) 【京】西垣(森
 川)、撫佐(河本)、村上弘(中
 村)、佐藤(面)、貴島(橋崎)

▽3回戦

流通経大 70000 尾道
 尾道 70000 尾道
 TGOPO 1TGOPO
 TGOPO 1TGOPO
 0000 1000後
 0000 7計0

我学院久 41(1229)055 大阪桐蔭
 1(東京第 2)

大阪桐 1GOPO5 TGOPO0
 TGOPO前 TGOPO後
 国学久 52029前 21GO12後
 大分舞鶴 22(175)120 青森北
 (大分舞鶴 22)

青森北 TGOPO0 T2TGO12
 1TGOPO前 2TGO17後
 大分舞 10GO5前 2TGO17後
 常翔啓光 7(70)303 東京第
 1(大阪第 2)

東 京 0GOPO0 TGOPI3
 TGOPO前 TGOPI後
 啓光 0GOPO0 11GO7 7計3
 東福岡 22(1012)055 西陵
 (福岡 22)

西陵 1TGOPO5 TGOPO0
 TGOPO前 TGOPO後
 東福岡 21GO12後 2TGO10後
 佐賀工 7(70)077 若狭学園
 (佐賀 7)

若狭 11GO7 TGOPO0
 TGOPO前 TGOPO後
 佐賀工 0GOPO0 1GO7後
 TGOPO前 1GO7後
 御所工 17(017)000 桐蔭学園
 (御所工 17)

桐蔭 0GOPO0 TGOPO0
 TGOPO前 TGOPO後
 御所 31OP17前 0GOPO0
 0GOPO0 17計0

第88回全国高校ラグビー大会第4日は1日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で3回戦8試合を行った。本県代表の秋田中央は、同じノーシードの京都成章(京都)と対戦。秋田中央は相手の試合巧者ぶりに振り回されてなかなか敵陣に進むことができず、8-34で敗れ、8強入りはならなかった。



〈第4日〉

カギポイント

関西の実力校との差を、まざまざと見せつけられた。Bのスピード、接点の強さ、キックの精度と、京都成章の総合力はメンバーが考えた以上のものだった。L〓吉田祐太主将3

年)は「完敗。向こうが全部上だった」と、目を赤くしながら語った。

【3回戦・秋田中央―京都成章】後半、秋田中央CTB谷がボールを奪い敵陣に攻め込む

秋田中央は、京都成章の強いプレッシャーと速い展開の前に、反撃の糸口をつかめな

FW、強さ見せる 秋田中央

吉田主将は「FWの集大成。今までの負け試合は完封されたばかりだったけど、最後に秋田らしいFWの強さを見せられたのがよかった」。PR<手応えを感じた。今大会も大学・社会人の舞台上でラグビーを続ける予定。高校生ラ

後、2年生も活躍して、分たちの成長を実感した。目を終え、吉田主将は「自

池は「来年もまたここでラグビーがしたい」と決意を新たにしていた。

3年生のほとんどは卒業後

も大学・社会人の舞台上でラグビーを続ける予定。高校生ラ

目を終え、吉田主将は「自

も流れは変わらず。8分には

モールを押し込んで待望のト

ライを挙げたが、相手BKの

展開に翻弄(ほんろう)され

て、さらに2トライを許して

大勢を決められた。

▽3回戦